様式１

別記様式

総　合　整　備　計　画　書

岩手県　山田町　豊間根　辺地
（辺地の人口 2,660 人　　面積 48.1 ｋ㎡）

１　辺地の概況

（１）辺地を構成する町又は字の名称
　　豊間根第１地割～第 22 地割、石峠第１地割～第４地割、荒川第１地割～第 11 地割

（２）辺地の中心の位置　豊間根第２地割 73 番地４

（３）辺地度点数　101 点

２　公共的施設の整備を必要とする事情

当辺地は町の北部に位置し、農林業を基幹とする集落で構成されており、次の事情により、公共的施設の整備を必要とする。

（１）豊間根地区の農地は、畜産業の低迷、高齢化に伴う用水確保の多難さ等から、休耕田が多く見受けられる状態であり、土水路による排水や農道が狭小なため、効率的な営農の展開に支障を来していることから、農業経営の安定化が図られるよう、生産性の高いほ場を整備する必要がある。

（２）山田北地区荒川団地のほ場に面する法面は、雑草の繁茂により稲作等における病害虫の発生を招き、営農に支障を来しているほか、一部では法面の崩落により用排水に支障を来していることから、ほ場法面を整備する必要がある。また、豊間根頭首工は、農地への水の供給に大きな役割を果たしているところであるが、経年劣化により著しく損傷していることから、改修を行う必要がある。

（３）豊間根地区における唯一の幼児教育・保育施設である、とよまねこども園が老朽化していることから、新たな施設の整備を支援する必要がある。

（４）町道田名部・新田線においては、側溝に蓋が設置されていないことや舗装の経年劣化により、通行に支障を来していることから、側溝改修及び舗装改修を行う必要がある。また、町道福士線においても、側溝に蓋が設置されていない箇所があることから、側溝改修を行う必要がある。さらに、側溝未整備区間のある町道石峠線及び堂ヶ鼻１号線においては、雨水排水機能の不足により通行に支障を来していることから、側溝整備を伴う道路改良を行う必要がある。

（５）豊間根地区の消防活動の拠点となる山田町消防団第12分団消防屯所が老朽化していることから、新たな施設を整備する必要がある。また、火災発生時に迅速な消火活動が可能となるよう、老朽化した消防車両の更新を行うとともに、消防水利を整備する必要がある。

3　公共的施設の整備計画

令和８年度から令和 12 年度まで５年間

（単位　千円）

区分 / 事業 / 施設名 / 主体名		事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
農林漁業経営近代化施設	岩手県	84,481	0	84,481	84,400
	山田町	105,000	40,000	65,000	65,000
幼保連携型認定こども園	社会福祉法人	187,500	125,000	62,500	62,500
市町村道・橋りょう	山田町	202,500	108,350	94,150	94,000
消防施設	山田町	183,559	3,996	179,563	179,500
合計		763,040	277,346	485,694	485,400